

- 設備紹介
- 事業報告
- 補助事業・助成金のお知らせ
- 新型コロナウイルスへの対応

岐阜県生活技術研究所は、  
快適な生活空間の創出と地域産業振興のために、  
新材料・新製品の研究と技術支援を行っています。

## 設備紹介 | 機器を導入・更新しました

### ● アーム式3次元形状測定装置 [担当：成瀬]

メーカー名：ファロー・ジャパン (株)

機器名： レーザーラインプロブFARO Prizm,  
Quantum E V2

概要： 自由度の高い機械式アームとその先端に取り付けられた光学式の3次元形状測定装置から構成され、測定対象物表面の三次元座標データと色情報を高精度に取得し、それを基に3Dデータを生成することができる装置です。椅子などの入り組んだ形状や、テーブル等の大きな製品を3Dデータ化することが可能です。



### ● スマート曲げ木装置 [担当：石原]

メーカー名：(株) エー・アンド・デイ

機器名： テンシロン万能試験機 RTH-1350

概要： 木材の一般的な強度試験（曲げ・圧縮・引張）に加え、曲げ木を実大材サイズで行えます。また、引張試験時に伸び計を試験体に取り付けることで、破壊時のひずみを高精度に測定できます。最大荷重容量：50kN，クロスヘッドストローク：1000mm，クロスヘッド速度範囲：0.0005～1000mm/min，最小サンプリング速度：0.2msec。



### ● 大型恒温恒湿器 [担当：三井]

メーカー名：日立アプライアンス (株)

機器名： コスモピア EC-86HHP

概要： 木材・木質材料等の環境試験を行う装置です。温度範囲： -20～100℃，湿度範囲：20～98%RH（温湿度制御範囲には制限があります。お問い合わせください。），内槽寸法：1000×1000×800mm，棚板耐荷重：50kg/枚。開放機器（恒温恒湿器 270円/1時間）としてご利用いただけます。



## 事業報告 | 研修を開催しました

中小企業の技術者の方々の専門的技術開発能力の向上、技術に関する基礎的及び専門的な知識の習得による技術向上を目的として、次の二つの研修を開催しました。

### ○家具のデザイン・設計に関する研修 (オンライン講習)

#### 第1回 「オープン CAE を用いた構造解析について」

講師：岐阜工業高等専門学校 教授 柴田 良一 氏

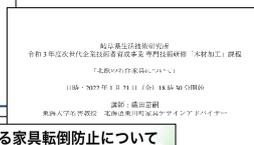
#### 第2回 「北欧の名作家具について」

講師：東海大学 名誉教授 織田 憲嗣 氏

#### 第3回 「地震による家具の転倒防止について」

講師：三重大学大学院工学研究科 准教授 川口 淳 氏

参加人数 16人



### ○ガスクロマトグラフ質量分析基礎研修

#### ① オンライン講習

##### ◆ GC-MS 基礎編 (GC-MS のしくみと基礎)

##### ◆ GC-MS 実践編 (GC-MS に関する日常の注意点)

講師：株式会社島津製作所 東 祐衣 氏

##### ◆ におい嗅ぎ装置とは?

講師：ジーエルサイエンス株式会社 伊藤 深雪 氏

#### ② 実習

##### ◆ におい嗅ぎ分析デモ (機器操作体験)

講師：生活技術研究所 専門研究員 伊藤 国徳

参加人数 13人



## 補助事業・助成金のお知らせ | ご活用ください

「技術シーズ移転・実証事業費補助金」の募集予定

生産工程の自動化・高度化、新商品の開発などに取り組む県内中小・零細企業に対して、技術移転・実証のための機器導入や試作などに要する費用の一部を補助します。

【補助対象者】 県内中小企業等

【補助率】 2/3

【補助額上限】 10,000千円

【補助条件】 大学や公設試等の技術シーズを活用すること。大学や公設試等と連携した事業であること。

【事業スケジュール】 令和4年3月25日 募集開始, 令和4年5月上旬 募集締切,

令和4年6月上旬 事業開始, 令和5年2月末 事業完了

【問合せ先/応募先】 岐阜県 商工労働部 産業技術課 地方大学・地域産業創生推進係

〒500-8570 岐阜県岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁11階

TEL: 058-272-8354 FAX: 058-278-2679 E-mail: c11352@pref.gifu.lg.jp

受付時間: 8時30分~17時15分 月曜日~金曜日 (祝日除く)

※ 技術シーズについては当所にお問い合わせください。

※ 本助成金は令和4年度予算成立を前提としています。

## 新型コロナウイルスへの対応 | 遠隔支援を行っています

新型コロナウイルス感染防止のため、依頼試験、機器利用、技術相談の対応に変更が生じる場合がございます。来所困難な状況が想定されますので、技術相談は電話やメールを中心に利用させていただきます。現物を見ながらの相談が必要であればweb会議で対応可能な場合もございますので、状況に応じてご相談ください。